

授業科目	障害者スポーツ指導論				
担当者	島 雅人 (実務経験者)・相原一貴 (実務経験者)・足立一 (実務経験者) 山田隆人 (実務経験者)				(オムニバス)
実務経験者の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島 雅人：日本パラリンピック委員会スポーツ医・科学・情報サポート事業バイオメカニクス担当(公財)日本障がい者スポーツ協会公認中級障がい者スポーツ指導員(2015～)スペシャルオリンピックス日本 認定コーチ(MATP 2010～、ユニファイドサッカー2016～)、スポーツコーチ(2017～)、ローカルトレーナー(2018～)</li> <li>・相原一貴：理学療法士として病院やデイサービス等で実務経験あり。</li> <li>・足立一：(公財)スペシャルオリンピックス日本 ユニファイドサッカー 認定コーチ(2016～)</li> <li>・山田隆人：(公財)スペシャルオリンピックス日本 ユニファイドサッカー 認定コーチ(2016～)</li> </ul>				
学科名	理学療法学専攻	学 年	2年	総単位数	1単位
	作業療法学専攻	開講時期	前期	選択・必修	自由選択

## ■ 内 容

障がい者スポーツ指導に関する専門的な知識と技術を身につけ、地域における障がい者スポーツのリーダー的役割が担えるよう、知識と技術の習得を図る。障がい者スポーツ指導における留意点や心理的側面について学ぶ。全国障害者スポーツ大会の歴史、目的と意義、実施競技、障がい区分に関する理解を座学にて学習する。全国スポーツ大会競技の指導法と競技規則について、実技実習を通して知識と技術を身につける。

島 雅人 (実務経験者)、相原一貴 (実務経験者)、足立一 (実務経験者)、山田隆人 (実務経験者)

## ■ 到達目標

1. 障がい者スポーツ指導に関する専門的な知識と技術を身につけることができる。
2. 障がい者スポーツ指導に留意点や心理的側面について理解することができる。
3. 全国障害者スポーツ大会の歴史、目的と意義、実施競技、障害区分を理解できる。
4. 全国スポーツ大会競技の指導法と競技規則について、実技実習を通して知識と技術を身につけることができる。

## ■ 授業計画

- 第1回 文化としてのスポーツ (1. 5)：島 (実務経験者)
- 第2回 障がい者のスポーツ指導における留意点 (1. 5)：島 (実務経験者)
- 第3回 全国障害者スポーツ大会選手団の編成とコーチの役割 (1. 5)：島 (実務経験者)
- 第4回 全国障害者スポーツ大会の実施競技 (1. 0)、全国障害者スポーツ大会の障害区分 (0. 5)：島 (実務経験者)
- 第5回 全国障害者スポーツ大会の障害区分 (1. 5)：島 (実務経験者)
- 第6回 全国障害者スポーツ大会競技の指導法と競技規則 (実技) 学外 陸上 (1. 5)：山田 (実務経験者)・島 (実務経験者)
- 第7回 全国障害者スポーツ大会競技の指導法と競技規則 (実技) 学外 陸上 (1. 5)：山田 (実務経験者)・島 (実務経験者)
- 第8回 全国障害者スポーツ大会競技の指導法と競技規則 (実技) 学外 サッカー (1. 5)：山田 (実務経験者)・相原 (実務経験者)
- 第9回 全国障害者スポーツ大会競技の指導法と競技規則 (実技) 学外 サッカー (1. 5)：山田 (実務経験者)・相原 (実務経験者)
- 第10回 全国障害者スポーツ大会競技の指導法と競技規則 (実技) 学外 グランドソフトボール (1. 5)：島 (実務経験者)・相原 (実務経験者)
- 第11回 全国障害者スポーツ大会競技の指導法と競技規則 (実技) 学外 グランドソフトボール (1. 5)：島 (実務経験者)・相原 (実務経験者)
- 第12回 全国障害者スポーツ大会競技の指導法と競技規則 (実技) 学外 水泳 (1. 5)：島 (実務経験者)

- 第13回 全国障害者スポーツ大会競技の指導法と競技規則（実技）学外 水泳（1. 5）  
：島（実務経験者）
- 第14回 最重度障がい者のスポーツの実際（実技）学内 ボッチャ 他（1. 5）  
：島（実務経験者）・足立（実務経験者）
- 第15回 最重度障がい者のスポーツの実際（実技）学内 ボッチャ 他（1. 5）  
：島（実務経験者）・足立（実務経験者）

## ■ 評価方法

【科目試験（筆記試験）】50% 、 課題レポート50%

## ■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

各回の講義前までに、教科書の該当箇所を読んでおくこと。

日頃から障がい者スポーツに関する情報を意識して得るようにしてください。テレビやインターネットで多くの情報を得ることができます。また、地域や大学が主催するイベントに参加して、できる限り障がい者スポーツに関わる機会を多く設定してください。実体験を通じて障がい者スポーツの魅力を感じ、自分自身が出来ることについて考え行動することを望みます。

## ■ 教科書

書名：障害者スポーツ指導教本 初級・中級<改訂版>  
著者名：（公財）日本障がい者スポーツ協会 編  
出版社：ぎょうせい

## ■ 参考図書

書名：パラスポーツルールブック パラリンピックを楽しもう  
著者名：陶山 哲夫（監修），コンデックス情報研究所（編著）  
出版社：清水書院

書名：発達障がい児の感覚を目覚めさせる運動発達アプローチ タイプ別やる気スイッチが入る運動あそび  
著者名：森嶋 勉  
出版社：合同出版

書名：身体と動きで学ぶスポーツ科学 運動生理学とバイオメカニクスがパフォーマンスを変える  
著者名：深代千之（著），内海良子（著）  
出版社：東京大学出版会

書名：地域生活からみたスポーツの可能性：暮らしとスポーツの社会学  
著者名：後藤貴浩  
出版社：道和書院

書名：よくわかるスポーツマネジメント  
著者名：柳沢 和雄（編著），清水 紀宏（編著），中西 純司（編著）  
出版社：ミネルヴァ書房

## ■ 留意事項

本科目は、中級障がい者スポーツ指導員資格を取得するために必修となる科目である。  
欠席した場合は資格取得が出来なくなるため、出席に関しては十分注意すること。

## ■ 講義受講にあたって

実技の内容を含む講義日は学校指定のジャージを着用すること。